



望洋台小だより



学校 HP

R6. 5. 21 No.2

(通算 568 号)

<学校の教育目標>

- 自ら考え工夫する子 ○思いやりのある優しい子
- 進んで行動しやりぬく子 ○明るく健康な子 ○協力し働く子

運動会へ向けて

校長 脇本 麻友美

今年度に入り寒暖差が大きく不安定な天候でしたが、先週あたりから葉桜の緑が深まるとともに、温かな春の陽ざしを感じる日が多くなりました。入学式から一ヶ月以上が経ち、一年生もすっかり学校に慣れ、学校生活を楽しんでいる様子がうかがえます。少し前の話になりますが、4月の終わりには「一年生をむかえる会」を開催し、各学年からは歓迎の出し物や手作りのプレゼントが贈られ、笑顔いっぱいの温かな雰囲気にも包まれた時間を過ごすことが出来ました。

さて、学校では今週から運動会特別時間割がスタートし、いよいよ運動会へ向けての取組が本格的に始まりました。

私事で恐縮ですが、私は生まれつき足が悪く運動は好きなのですが苦手でした。特に走るのには苦手で、運動会の徒競走は、どんなに全力で走っても、ほとんど「とり」を飾っていました。ただ、リズム（踊りなどの表現活動）や玉入れや綱引きなどの団体競技は好きで、張り切って練習をしていました。運動会といえば、自分の出番よりも友達を応援していることの方が記憶に残っているのですが、一度だけ2年生の時に「運命走」で2位に入ったことを覚えています。しかも総練習。どんな内容の運命走だったかは忘れてしまいましたが、とても嬉しかったから今でも記憶に残っているんだと思います。（ちなみに、運動会当日は総練習で運を使い果たしたのか等外でした。）

人にはそれぞれ得意なこと苦手なことがあります。もしかすると、子ども達の中には私のように走るのが苦手・運動が苦手という子もいるかもしれません。でも、その子にも必ず力を発揮できる場面があると思います。よさこいソーランや応援合戦、「踊りならバッチリ!」「大きな声なら誰にも負けないよ!」などなど……。大切なことは、自分の出来ることを精一杯頑張ることやチームで助け合いながら目標に向け「心を一つに」取り組むこと、そして、お互いの頑張りを讃え合うことではないかと思います。私は走るのには苦手でしたが、賞に入ったのは6年間で2年生の総練習の一回だけでしたが、運動会は楽しかった良い思い出です。それは、子どもながらに全力を尽くしたと思えたと共に、みんなで目標に向けて頑張ったという「一体感」を感じていたからではないかと思います。運動会へ向けての様々な取組を通し、子ども達が体力の向上だけではなく、仲間と共に目標に向け頑張る喜びを感じることで、心も一回り大きく逞しく成長することを、そして今年の運動会が全ての子ども達にとって良き思い出となることを願っています。

今年の運動会は6月1日（土）です。保護者・地域の皆様、ご多用の事とは存じますが、当日は是非グラウンドへおこしいただき、子ども達が仲間と共に精一杯頑張る姿に、温かく大きなご声援をいただけますようお願い申し上げます。



1年生を迎える会がありました

4月26日（金）の3時間目に1年生を迎える会がありました。2年生～6年生が、学校の様子を分かりやすく紹介したり、楽器演奏を上手に披露したり、かわいいプレゼントをあげたりしました。

中でも、6年生は、かっこいいリズム縄跳びを披露しました。

1年生は、どの発表も真剣な眼差しで見っていました。1年生がやさしいお兄さん、お姉さんから温かく迎えられた時間となりました。



引き渡し訓練がありました

5月8日（水）の5・6時間目に引き渡し訓練を実施しました。地域で地震が起き、信号が止まったという想定で、保護者の方々に徒歩で迎えに来てもらい、お子さんを引き渡す訓練でした。お迎えが難しかったお子さんは、図書室で過ごしました。

今回は、お子さんを引き渡すまでにそれほど時間はかかりませんでした。万が一本当に大きな地震が起きたら、混雑が予想されます。今回は、そのような混雑をイメージしたり、教職員の動きを確認したりする上でも充実した訓練となりました。



PTA 花壇の土おこしがありました

5月11日（土）にPTA花壇の土おこしがありました。今回は、6年生と1年生の担当やボランティアの方、教員等、併せて約23名が参加して、土おこしを行いました。

天気がよく、少し暑い中での作業でしたが、皆さん熱心に作業に取り組んでいただきました。ありがとうございました。

